

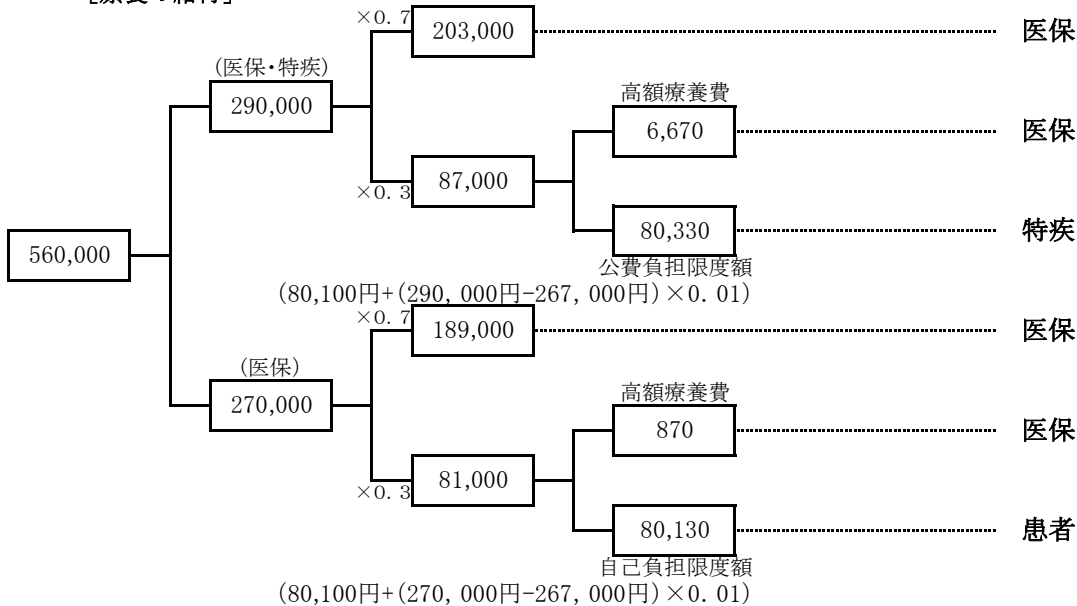
事例8 70歳未満本人入院外(一般所得)・公費(特定疾患)

国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	3 3 併	2 本人
公費負担者番号①	5	1								公費負担医療の受給者番号①			
公費負担者番号②	8	0								公費負担医療の受給者番号②			
氏名										特記			
職務上の事由										18 一般			
保険										保険			
公費①										公費①			
公費②										公費②			
請求円	560,000		※	決定円			負担金額円			※高額療養費	円		
合計	560,000						(80,330)						
公費①	290,000						空欄	※公費負担金額 円		備考			
公費②	560,000						12,000	※公費負担金額 円					

※ 医保単独部分及び併用部分で高額療養費が発生する場合 →「保険」の「負担金額」欄の記載で、一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは ( )書きで再掲する

[療養の給付]



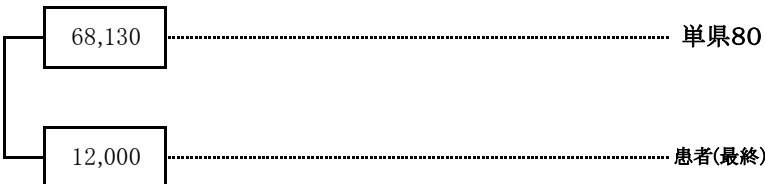
合計	
医保	399,540 円
(高額再掲)	7,540 円
特定疾患	80,330 円
患者	80,130 円
単県80	68,130 円
患者(最終)	12,000 円

〈保険〉70歳未満 国保 定率3割 高額限度額=83,030円(一般区分)

〈公費①〉51(特定疾患)(所得区分:一般) 月額自己負担限度額 0円

〈公費②〉単県80 定率1割 一般(一部負担上限額 12,000円)

高額療養費  
 $(290,000円 \times 0.3) - 80,330円 + (270,000円 \times 0.3) - 80,130円 = 7,540円$



→単県80が患者負担を68,130円カバーし、患者の最終負担額は12,000円となる